

財務諸表に対する注記

1、重要な会計方針

- (1) 平成22年度事業報告書から、財務諸表の表記を円単位とした。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
総平均法による原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却について
有形固定資産 定率法によっている。
無形固定資産 定額法によっている。
- (4) 収支差額iについての修正
平成22年度決算における「収支差額」より、これまで計上した減価償却累計額、並びに固定資産売却損の合計額¥72,519,542（S37年～H21年）を清算した。

2、基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は次の通りである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	23,594,327	0	0	23,594,327
土地	2,877,178	0	0	2,877,178
建物	16,570,657	0	745,678	15,824,979
電話加入権	366,480	0	0	366,480
特定資産				
定期預金	43,200,000	0	0	43,200,000
定額預金	38,500,000	0	0	38,500,000
合計	125,108,642	0	745,678	124,362,964

3、固定資産の所得価格減価償却累計額及び当期末残高は次の通りである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高	備 考
建物	31,148,000	15,345,552	15,802,448	春日会館
建物	230,000	207,469	22,531	軽井沢
合計	31,378,000	15,553,021	15,824,979	